

教育民生委員会

●おもてなし商業工

ア創出

問 街なかの商店街をきれいにしてお客様を迎えるための店舗の改装費用補助を、新年度で6店舗予定しているとのことだが、申請までの流れはどのようになっているのか。

答 商店からの店舗の改装についての提案を受け、専門家を派遣、店主のやる気や将来性、事業の趣旨にふさわしいかなどの判断をした後に申請する流れ。
意見 商店街全体ではなく、限られた店舗だけがきれいになるのでは、どれほどの効果があるのか。中心市街地など限られた区域の店舗だけでなく、それ以外の周辺部の商店とのバランスも考えて今後の事業展開を進めていただきたい。

●もみじまつり開催

問 つつじまつりと、

もみじまつりの来場者数を比べると、もみじまつりの費用対効果がとても低い。このことに対してどのように捉えているのか。

答 つつじまつりは歴史もあり、西山公園のツツジはひとつの観光資源の核。モミジについても、千本を超える整備を行ったことから、観光資源のひとつとしてイベントを行って

いる。イベントを開催することで、鯖江の知名度向上、西山公園の周知につながる。また、西山公園を訪れた方に街なかまで足を延ばしていただき、街なかの賑わいにつなげたいという狙いもある。

一般会計予算

●近所福祉ネットワ

ーク推進

問 体制をどうやって作っていくのか、マニュアルを作るなどサポートが必要では。

答 新年度から、社会福祉協議会が各町内に合った形での組織作りをお願いに回る予定であり、市としても連携して進めたい。

●老人クラブ活動費助成事業補助金

問 単位老人クラブは地区の老人会や市の老人クラブ連合会へ会費を納めている。サロンと比べて不満が出てくると考えられるが見解は。

答 単位老人クラブには、連合会から地区体育大会や健康増進事業、交通安全事業、地区助成などの各事業に一定額の補助金が交付され

ており、会費以上の補助金が交付されるため、サロンと比較しても助成額の差はない。
●小規模保育事業所整備費補助金
問 安心して子供を預けられるよう経営基盤の安定化から、社会福祉法人化してもらう必要があるのではないかと。認可保育所となるためには社会福祉法人であることが県の認可の前提となっており、今回予算計上した県や国の補助財源の申請も、それを前提にしたものである。
●神明公民館
問 耐震工事期間中の利用はどのようになるのか。
答 本年6月に着工し、来年3月までに完成の予定。文化講座や区長会などは約1年間、市内の他の公共施設で実

施してもらう旨を説明し、調整もほぼ終わっている。ほかに立待公民館の耐震工事を平成32年度から設計を行う予定で、これが終われば地区公民館の耐震化は終了する。

国民健康保険事業特別会計予算

問 国保財政運営の主体が県に変わるといふことで、保険証や高額療養費取扱いなど国保加入者への影響があるのか。
答 保険者が福井県に、発行者は市町となり、保険証の記載が変更される。個々の届出や高額療養費の支給などの窓口業務は従来と同様だが、市町を移動した場合は高額療養費の通算が適用される場合がある。

後期高齢者医療特別会計予算

問 福井県後期高齢者医療広域連合から、平成30年度保険料の内示があったのか。また、広域連合の基金の現状は。

答 広域連合からは1月下旬に提示があり、平成29年度と比較すると、金額で1人当たり年間5千円弱、率で7.8%の値上げとなっていた。また、今回の値上げに際して広域連合が保有していた基金が16億円あり、これを全て投入して、値上げ幅を圧縮した結果が今回の増加となった。

平成29年度と比較すると、金額で1人当たり年間5千円弱、率で7.8%の値上げとなっていた。また、今回の値上げに際して広域連合が保有していた基金が16億円あり、これを全て投入して、値上げ幅を圧縮した結果が今回の増加となった。

